

研究課題名	「胃癌 AI 診断の精度向上」のための研究
研究の意義・目的	胃癌の発見率は医師の経験年数に依存し、経験を積んだ内視鏡医においても、胃癌を見落とししていたという報告がされており、胃癌の見落としを最小限にする努力が求められます。近年、artificial intelligence(AI)の発展が注目され、臨床医学へ応用が試みられています。本研究では、従来の報告にある胃癌検出感度 90%を超える AI の開発を目指すとともに、早期胃癌の適応を決めるうえで必要な、病変サイズ（病変範囲）・組織型・深達度・潰瘍瘢痕の有無、などの正確な診断が可能な AI の開発を行います。
研究を行う期間	承認後～2023 年 3 月 31 日
研究対象者の範囲	2009 年 4 月から 2019 年 8 月に大阪市立大学医学部付属病院で <u>上部消化管内視鏡検査にて胃癌と診断された患者さんが対象</u> です。
お願いする内容	<p>■共同研究機関に頂いた試料・情報を提供します。</p> <p>■他の施設が共同研究の代表施設として研究いたします。</p>
頂いた試料・情報の提供方法	検査データ、診療記録等を使わせていただきます。
頂いた試料・情報の管理について責任者	<p>特定の個人を識別できない形で提供します。</p> <p>・データ発出側責任者：JED Project 責任者 田中 聖人</p> <p>・データ受領側責任者：国立情報学研究所 佐藤 真一</p>
この研究を行っている施設（共同研究機関）	<p>研究代表 藤城 光弘 名古屋大学大学院医学系研究科 教授</p> <p>田中 聖人 日本消化器内視鏡学会 JED Project 代表、日本赤十字社京都第二赤十字病院</p> <p>佐藤 真一 国立情報学研究所</p> <p>・石川県立中央病院・福島県立医科大学附属病院・山口大学医学部附属病院</p> <p>・東京都立墨東病院・国立病院機構函館病院・日本赤十字社京都第二赤十字病院</p> <p>・金沢大学附属病院・愛知県がんセンター・旭川医科大学病院</p> <p>・名古屋大学医学部附属病院・近畿大学医学部附属病院・和歌山県立医科大学附属病院・慶應義塾大学病院・筑波大学附属病院・大阪市立総合医療センター</p> <p>・広島大学病院・順天堂大学医学部附属 順天堂医院・群馬大学医学部附属病院</p> <p>・関西ろうさい病院・大阪急性期・総合医療センター・弘前大学医学部附属病院</p> <p>・市立豊中病院・国立国際医療研究センター国府台病院・虎の門病院</p> <p>・東北大学病院・昭和大学藤が丘病院・春回会井上病院・東京大学医学部附属</p>

	<p>病院・愛媛大学医学部附属病院・国立がん研究センター中央病院</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長崎みなとメディカルセンター・周東総合病院・福井県立病院 ・東京慈恵会医科大学 葛飾医療センター・神戸大学医学部附属病院 ・大阪市立大学医学部附属病院・国立がん研究センター東病院・斗南病院 ・静岡県立静岡がんセンター
代表施設の URL	https://www.jges.net/clinical_research
研究の成果を公表する方法	研究成果を学会・論文などで発表
研究に協力をしたくない場合	下記に連絡することでいつでも本研究への参加を拒否できます。また、研究への参加を断っても、診療に関する不利益等を受けることはありません。
連絡先	<p>消化器内科 准教授</p> <p>永見 康明</p> <p>住所 545-8585 大阪市阿倍野区旭町 1-4-3</p> <p>電話 06-6645-2316</p>